



7th・阪急

ええはがき コンテスト

第2章 ～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～

入賞作品集

目次

第7回阪急ええはがきコンテスト 第2章～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～ について……………	1
最優秀賞 写真部門……………	2
最優秀賞 絵画部門……………	3
歴史・思い出賞 ……………	4
学生優秀賞……………	5
審査員賞 写真部門……………	6
審査員賞 絵画部門……………	7
大阪ええはがき研究会賞 ……………	8
エリア賞(神戸線賞) ……………	9
エリア賞(宝塚線賞) ……………	10
エリア賞(京都線賞) ……………	11
秀作賞……………	12
佳作 神戸線……………	15
佳作 宝塚線……………	21
佳作 京都線……………	28
阪急ええはがきコンテストの軌跡 ……………	36
審査員の先生方からのメッセージ ……………	42

※作者名にPNと付記した方はペンネームです。

ごあいさつ

地域(まち)の魅力を再発見し、発信するイベント「阪急ええはがきコンテスト」。

7回目となる今回は、第2章として、阪急電鉄全線の地域を対象にテーマを～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～として作品を募集しました。

今回、日常風景の中の魅力を切り取った写真・絵画など、1,000点を超えるご応募がありました。

身近にあるはずなのに、こんな地域の顔があったのかと、改めてその場所を訪ねてみたくなるような力作が数多く揃いました。

「日常」という視点で地域の魅力を捉えた作品を前に、審査員の先生方が熱い議論を重ねた結果、見事選出されたのが、この作品集でご紹介する75作品です。

この作品集を通じて、みなさま方も地域の魅力を再発見・再認識していただくと幸いです。そして、ぜひ、この作品集を見ながら、周りの人たちとも語り合ってください。

阪急電鉄株式会社
2016年12月

阪急ええはがきコンテストのホームページでは、この作品集でご紹介する75作品の「阪急ええはがき」がダウンロードできます。また、過去6回〈2010年 宝塚線・箕面線沿線〉〈2011年 今津線沿線〉〈2012年 京都〉〈2013年 京都線part2〉〈2014年 京都線part3&千里線沿線〉〈2015年 神戸線・伊丹線・甲陽線〉の「阪急ええはがき」もダウンロードすることができます。



ホームページURL
<http://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>

第7回阪急ええはがきコンテスト

第2章～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～について

募集作品

地域(まち)の魅力を写真や絵画などで切り取り、作者の思いと地図を添えて発信する「ええはがき」。今回は～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～をテーマに、阪急電鉄全線地域を対象に作品を募集。思い出の中の日常風景を対象にした作品や、組作品の応募も可。

作品募集期間

2016年4月1日～2016年8月31日

対象エリア

全線対象

賞

最優秀賞 写真部門	1作品	大阪ええはがき研究会賞	1作品
最優秀賞 絵画部門	1作品	エリア賞	各1作品
歴史・思い出賞	1作品	(神戸線賞・宝塚線賞・京都線賞)	
学生優秀賞	1作品	秀作賞	3作品
審査員賞	2作品	佳作	62作品
			計75作品

審査員

有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

関係組織・団体

主催：阪急電鉄株式会社
共催：阪急阪神ホールディングス株式会社
後援：大阪府、京都府、兵庫県
協力：大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー

▶ ええはがきとは…

ええはがきは、「大阪ええはがき研究会」が提唱するまちの魅力を発信する絵はがきのこと。写真や絵画などに加え、作者の思いを伝えるメッセージ、作品の場所の地図が載っているのが特徴です。

ええはがきの3つの楽しみ方

見て楽しむ

この作品集を見て、沿線のええポイントを再チェック。
お気に入りの作品はホームページからダウンロードしよう!

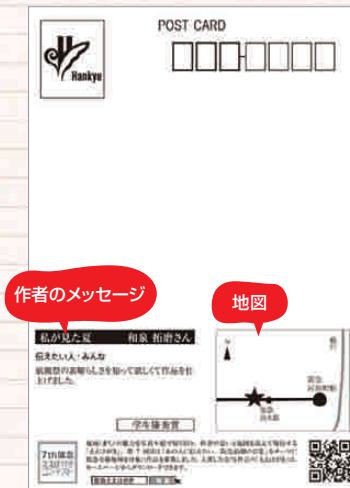
行って楽しむ

ええはがきを片手に地域(まち)の魅力を探しに行ってみよう!

送って楽しむ

ええはがきはもちろん、はがきとして活用OK!
あなたの周りの人に送って、地域(まち)の魅力を発信してみよう!

写真・絵画など





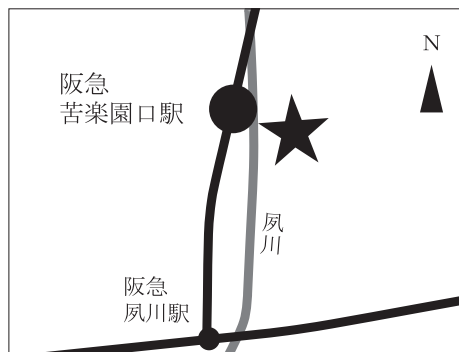
春のうららの夙川

中西 宏明さん

伝えたい人:家族

メッセージ:

毎年家族四人で来る観桜スポット。今年は娘がクラブで来られなかったので、来年は全員で来ようね！子供が小さかった頃は桜の枝ぶりが短く電車が撮りやすかったのに、子供も桜も大きくなりました。



審査員 講評

待ちに待った春の到来。色を明るくハイキー調に仕上げているので、まさに春うららが感じられます。色の調子とテーマの内容とが上手く合った表現になっています。温かい春の空気に浮かれだし、夙川の堤防を散策したりお花見をしたくなってしまう。

さくらの花をぼかしたりして遠近感を作り出し、写真を引き立たせるトンネル構図を活用しながら、阪急電車をうまいタイミングで捉えています。完成度の高い作品です。(有野永霧先生)



石橋商店街

長坂 富雄さん

伝えたい人:家内(いつも買い物ご苦労様)

メッセージ:

「赤い橋」は石橋商店街出入り口の箕面川に架かる橋のことで、住民のほとんどの人は「赤い橋」を知っている。旧能勢街道沿いの商店街のいわばシンボルとなっている。



審査員 講評

箕面川に架かる赤い橋を渡ると賑やかな石橋商店街、ここは能勢街道ですね。この道をいつも歩かれるのでしょうか。橋の赤い欄干、商店街の赤いのぼり、ビル壁の大看板、そこを行き交う人の姿…この橋の風情を、ゆったりと自然体で眺める作者がそこに立っている、そんな感じのする絵です。

何気ない見慣れた風景も切り取り方によってはこんな素晴らしい絵になるという発見、これこそが街の再発見ですね。構図、彩色もいいですが、何よりも、この界隈の魅力を伝えたいという気持ちを素直に表現されているところが嬉しいです。(井上正三先生)



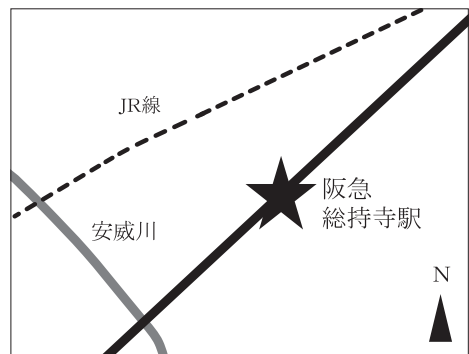
早春の駅

森田 幹夫さん

伝えたい人:写真に写っている人達

メッセージ:

写真好きの故父が残していた1枚。語り合う、おばあさん、うれしそうなお子達。昔も今も変わらない駅の待合室の、のどかな風景。



審査員
講評

いつ頃に撮影された写真でありましょうか。レトロな駅のたたずまい、電車を待つ人たちの服装を見ていると昭和のよき時代がふつつつと思い出されます。セピア調のプリント表現からも歴史時間が感じられます。写真右下にプリントされた2016/08/21の日付は現代に引き戻されてしまいます。

もし実際に撮影された日が記されていますと、さらに意味合いが深まったことでしょう。この賞のこれまでの最高作品であるといえます。(有野永霧先生)



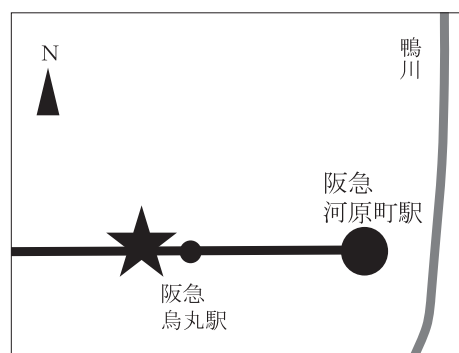
私が見た夏

和泉 拓磨さん

伝えたい人:みんな

メッセージ:

祇園祭の素晴らしさを知って欲しくて作品を仕上げました。



審査員
講評

千年の歴史が積層する京都の街を、ポップに、軽やかに、若者の感性で切り取った作品。鈍も路線バスもまち行く人も、みんなフラットにとらえてしまう思い切りの良さが、「ここは京都?」と感じさせてしまう魅力を生んでいます。子どものころはよくアングルを傾けて写真を撮っていましたが、なぜか年齢を重ねるにつれなくなっていますよね。まちに対して感じるままに、楽しい気持ちでアングルを大胆に決め、シャッターを切る若々しさ、いくつになっても忘れたくないものです。(杉本容子先生)



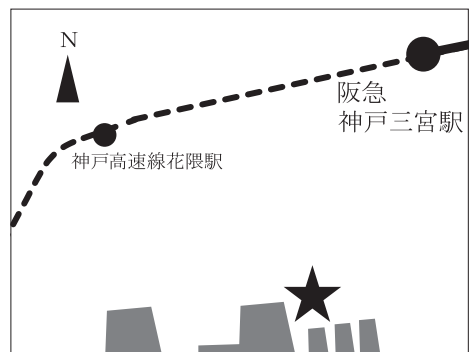
いってらっしゃい

岡田 忠良さん

伝えたい人:友人

メッセージ:

帆船が出航するときには、子供たちが見送りにくることがあります。この日も黄色い帽子の子供たちが手をふり、海王丸の出航を見送っていました。



審査員
講評

商船学校の練習帆船の海王丸です。出港のタイミングであるかどうかは判然としませんが、先生と一部の生徒が手を上げて船が今まさに出かけようとしている感じに写っています。横長の帆船と一列に並んだ黄色い帽子の園児の形が似通っているので全体の構図にリズムがうまれています。

先生が子供たち以上にはしゃいでいる姿も微笑ましい。未来に向けて羽ばたいていこうとする未来志向の表現が心地よい印象を与えます。(有野永霧先生)



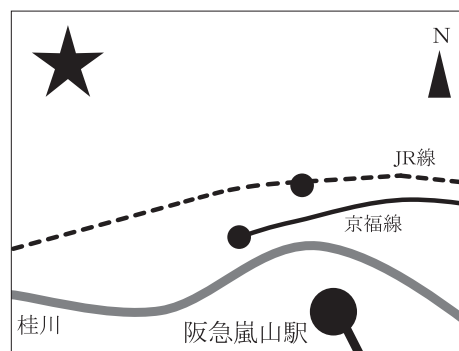
嵯峨鳥居本 平野屋

大久保 秀美さん

伝えたい人:京都を訪れたい人

メッセージ:

観光客で溢れる嵯峨野の賑わいも化野念仏寺辺りから人通りも少なくなり、鳥居前の茅葺の風格のある建物の奥に400年の歴史がある料理茶屋「平野屋」さんがあります。この付近は自然豊かなたたずまいです。



審査員
講評

愛宕神社の一の鳥居にある400年の伝統を持つ茶店平野屋、この前に立つと、さて、今から愛宕参りの表参道に入るぞと気合のかかる場所です。非常に洗練された筆さばりと爽やかな色使いで、サラリと仕上げられた素描感に感心させられます。

平野屋の茅葺の大屋根を見上げるアングルがよく、画面構成もこの上ありません。大屋根の軒の線に少し曲線の勾配を持たせたことが小気味よく、全体に安定感のある魅力あふれる作品です。(井上正三 先生)



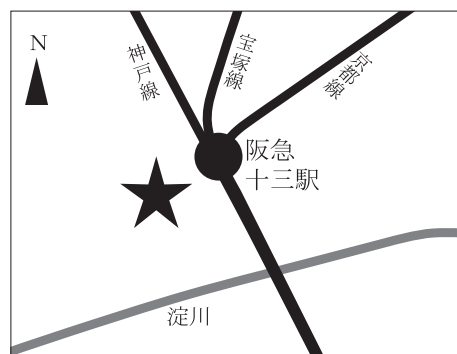
夜賑わう街角

栗原 正隆さん

伝えたい人:夜はあまり出掛けられない人たち

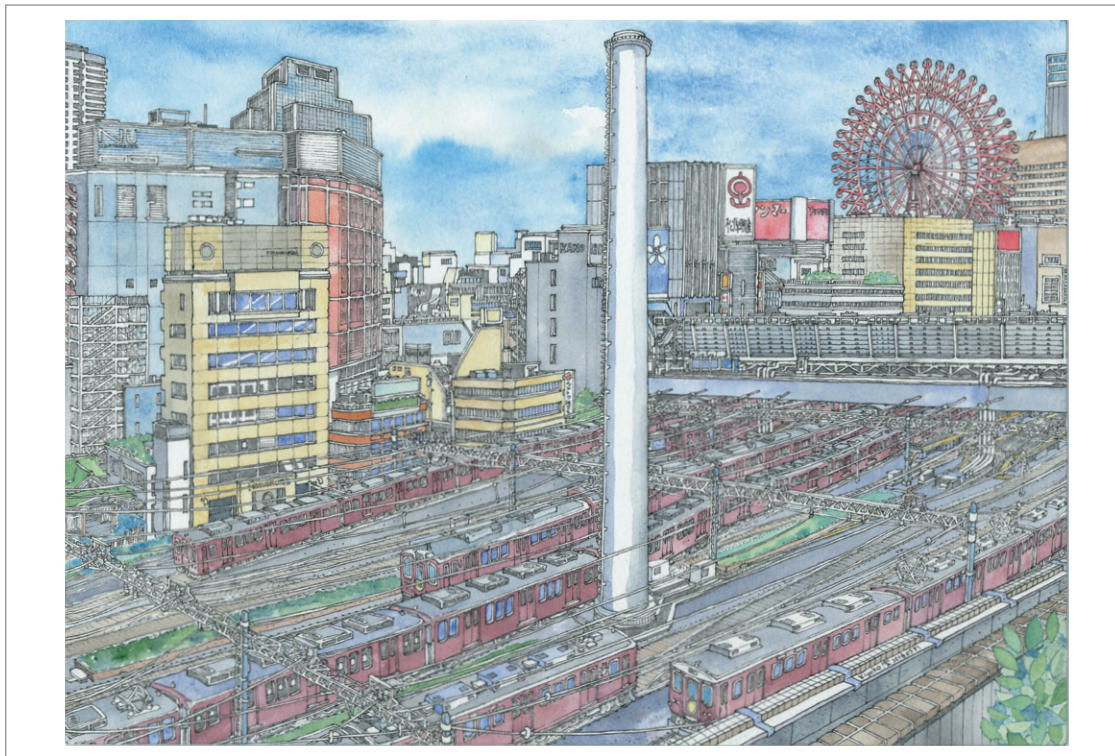
メッセージ:

阪急沿線において、夜も賑わいを見せる、もしくは夜こそ賑わうスポットを巡ってみるのも一興です。昼間には見ることのできない街の「夜の顔」も魅力的です。



審査員
講評

「夜のまちを楽しんだことがない人達に伝えたい」というメッセージが込められた作品。確かに、ほろ酔いで夜の街をそぞろ歩く楽しみは、やってみないと想像できないかもしれません。味のあるネオンの色味、まち行く人の足取りがその雰囲気を与えています。これまでのええはがきコンテストでも、夜のまちの魅力にチャレンジする人は少なかったように感じます。夜景撮影という技術的なハードルもさることながら、夜のまちを楽しむあまり、それを人に伝えるためにシャッターを切ることを忘れてしまいがち。二重の難しさを乗り越えた力作に一票！です。(杉本容子先生)



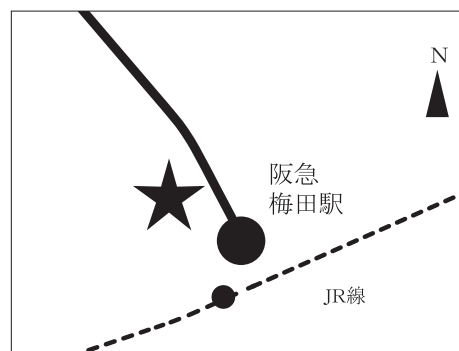
梅田

山口 潔子さん

伝えたい人:10代の頃の友達と子供

メッセージ:

10-20代の頃、どきどきしながら出かけていた梅田。赤い旧ヤンマー本社ビルを見ると「大阪に来たな」と感じ、いろんなお店に隠せず入っていく友人たちを「大人だな」と思っていました。





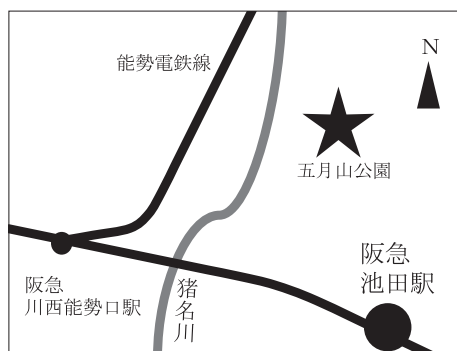
サツキの山

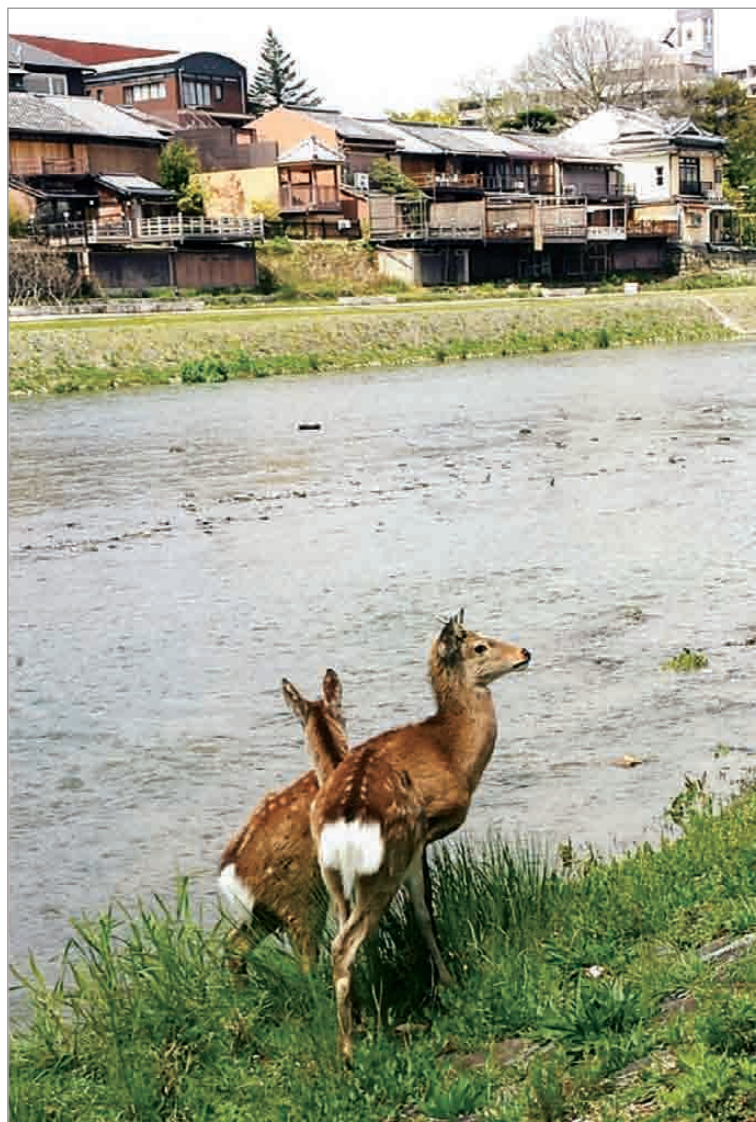
前川 敏夫さん

伝えたい人:自分自身に

メッセージ:

知らない間に遊具が、更新、新設されて公園も進化していることに気づかされます。いつまでも少年の頃の感慨にふけっている場合ではなく、今を、未来を見つめていかない!





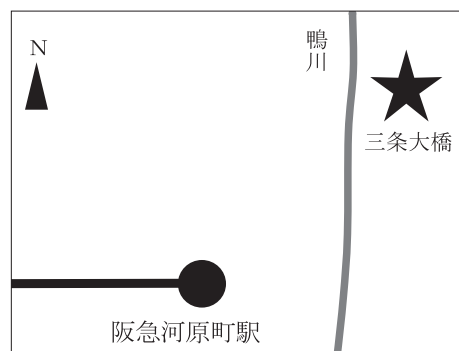
うちらも先斗町いく？

室 雄二さん

伝えたい人:シカ

メッセージ:

三条大橋付近を散策していると草を食べるシカ2頭。親子連れかカップルか？ 上流からテクテク京都の繁華街まで下りてきた様子。鴨やサギとのんびりする風景に心とませてくださいました。仲良く浅瀬をわたる2頭にホンワカ。





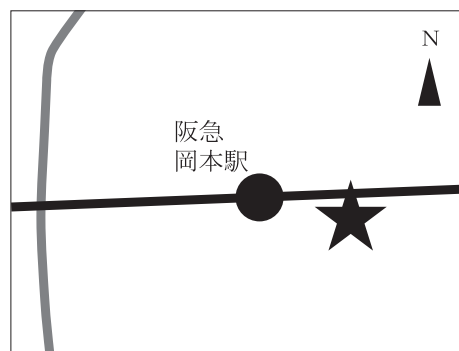
信号待ち

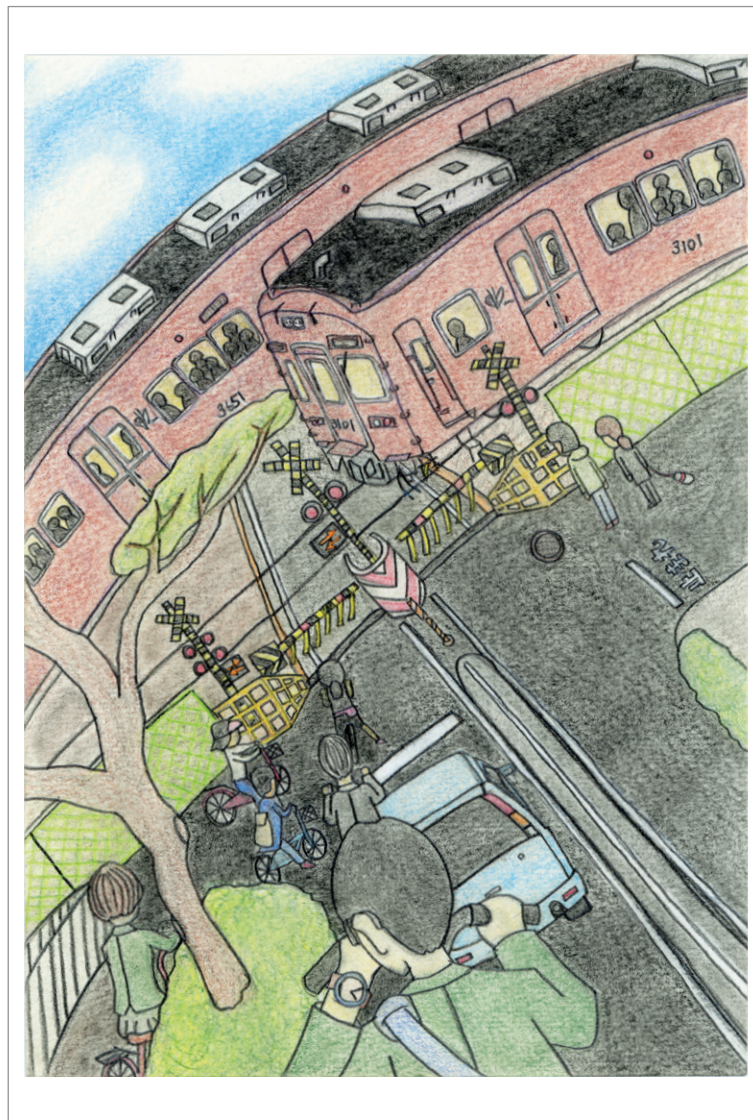
岡田 忠良さん

伝えたい人:友人

メッセージ:

5月の連休に行われる東灘区のだんじりパレードでは、沿線北側の神社のだんじりが踏切を渡ります。





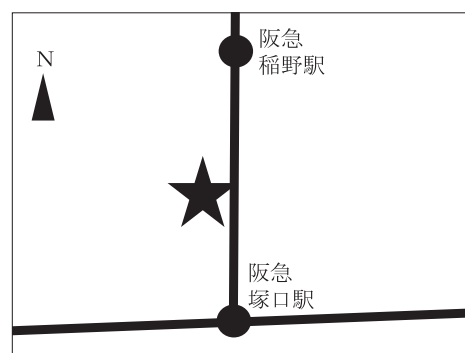
あなたは誰

中居 大也さん

伝えたい人:市兵衛さん

メッセージ:

僕が高校へ通うのに3年間毎日渡ったこの市兵衛踏切は、朝たくさんの方が行き交います。果たしてその中に、市兵衛さんを知る人がいるのでしょうか。





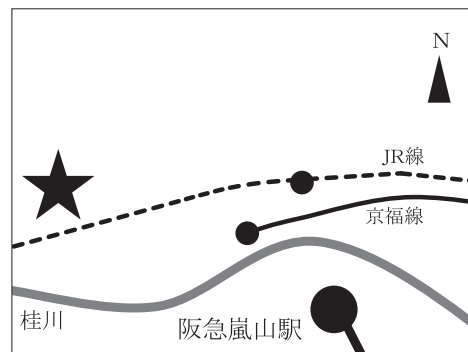
アイトワ

井貫 百合恵さん

伝えたい人:自然を手軽に感じたい人

メッセージ:

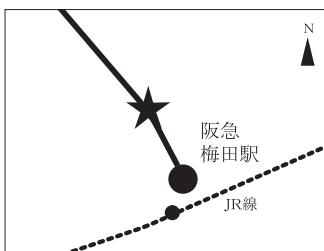
アイトワの入り口でそっと出迎えてくれる花車を描きました。ここには豊かな自然の中にカフェや人形作家森小夜子さんの工房などがあります。自然を愛するご夫妻の循環型生活空間に一度は触れてみてください。





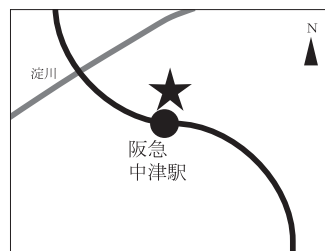
レトロなガード下 遠藤 昌平さん

伝えたい人:レトロを愛する人々へ
 メッセージ:ありそうでなかったこういう場所！それもレンガ作りのかべに古き良きアメリカを思い浮かべるポスターの数々！何気ないガード下がとてもオシャレなギャラリーに感じました。時間が止まったような感じがし、撮影しました。



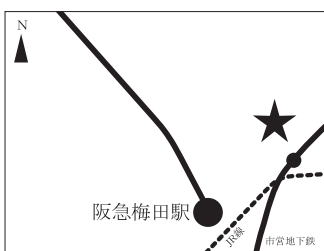
異空間 水上 毅さん

伝えたい人:意外な都会を感じたい人
 メッセージ:阪急沿線に商店街は多くあるけれど、中津駅近くの中津商店街は大都市梅田のすぐ近くにありながら、生きた昭和レトロを感じ取れるのが面白い。



迷宮へようこそ 飛山 光弘さん

伝えたい人:大阪へ訪れた旅行者の方々
 メッセージ:高架をくぐれば過去世界にワープ。くねくね路地は抜かれるのか。いつも湿っている地面の苔の匂いか。人が気配を潜めているような古屋。なのに、いきなり出くわす華美な洋服ども。



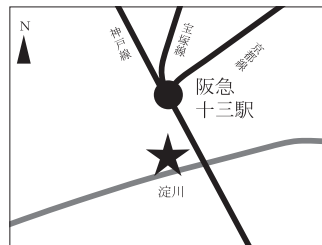


黄昏の町

大塚 せい子さん

伝えたい人:孫

メッセージ:梅田に出かけるたびにみえる風景。楕円形のデザインがかわいらしく、いつか写真にと考えており、ビルの形がはっきりする夕方に橋の近くから三脚を立てて撮りました。こんな風景が見られることを孫に伝えたいです。

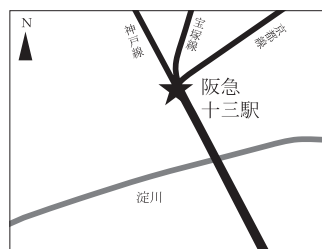


威勢の象徴

KGR1981Eさん(PN)

伝えたい人:3線並走の醍醐味をご存じない方々

メッセージ:阪急名物、梅田駅を同時刻発車した京都・宝塚・神戸3線の優等列車たちが並走して十三駅へ入線してきます。阪急電鉄の威勢を感じさせる壮観な光景ですが、こうして実際に写真に収めるのは意外と難しいのです。

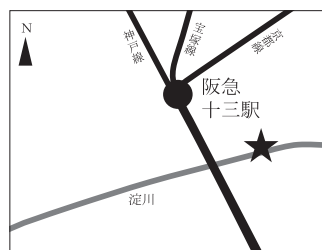


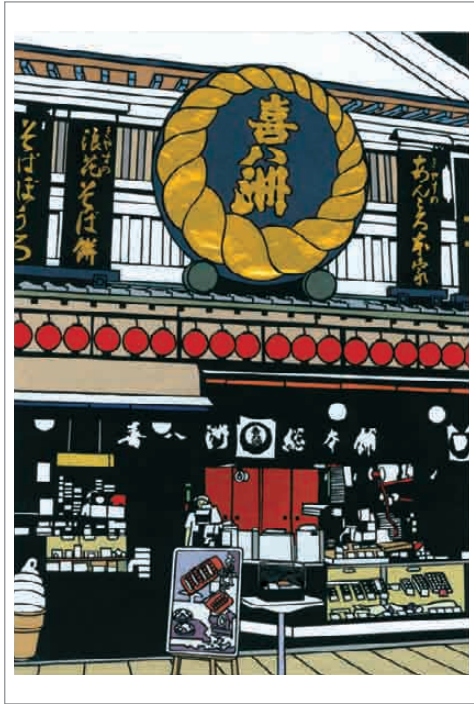
希少な干潟

水上 毅さん

伝えたい人:生き物が好きな人

メッセージ:干潮時の十三干潟は淀川に入って歩けるくらいに水位が下がります。シジミやたくさんの干潟の生き物が顔を出すので、豊かな生態系を感じることができます。



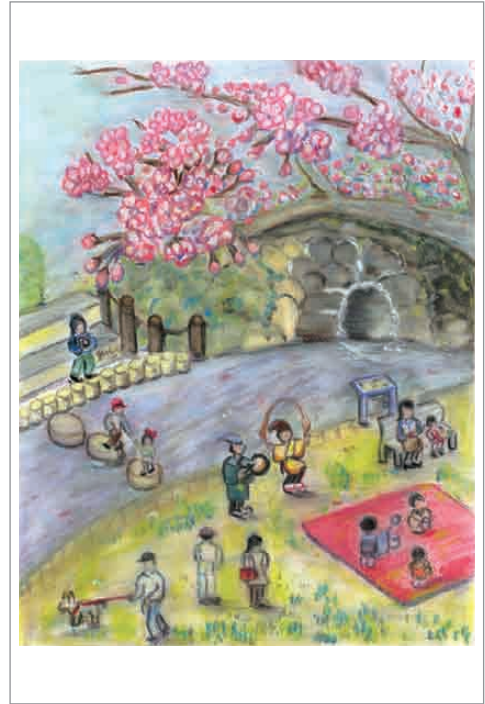
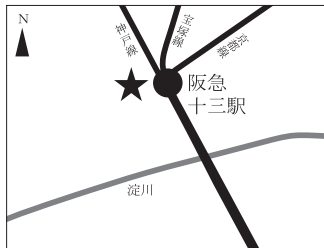


喜八洲

上野 利雄さん

伝えたい人:友人と奥さん

メッセージ:十三では老舗の喜八洲の酒まんじゅうとして有名で、もう創業69年になるそうで、十三を代表する店で何度も買い物をしてなじみのある店です。切り絵にしたいと思いました。

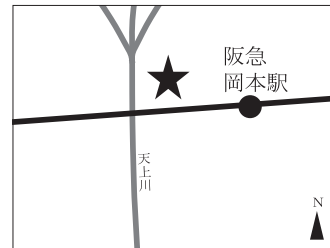


桜守公園

光永 芳子さん

伝えたい人:岡本を愛して下さる皆様

メッセージ:水上勉の小説『櫻守』のモデルになった事で知られる笹部新太郎氏の屋敷跡を神戸市が買い取り昭和56年、岡本南公園として開園しました。園内には、ササベ桜をはじめ、エドヒガン、オカモト桜が植えられています。4月の第一土曜日は桜祭りが催され、花見団子の振る舞い、大道芸、野点が行われます。

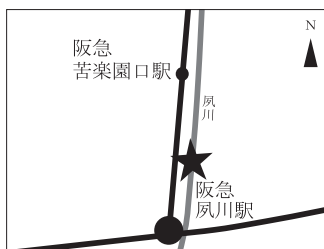


さくら日和

佐伯 知美さん

伝えたい人:桜を愛する全ての人に

メッセージ:毎年、この季節になると、こぼれるまでに咲き誇る桜に逢いたくて、夙川散歩に出かけます。下流に行く程、お花見客の数は少なくなりますが、少し暖かいこの日は、子供達が水遊びに興じていました。微笑ましい!



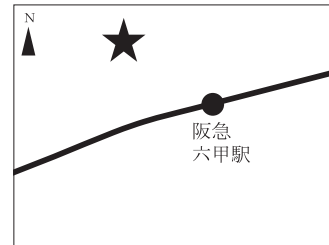


病室から

堀口 久子さん

伝えたい人:入院患者さんとその家族

メッセージ:入院中、病室の窓から街並みと行き交う車や鉄道がよく見えました。私を励ましてくれたこのなんでもない日常の風景を木版画にしてみました。闘病生活を送っている人々が一日も早く元気になれますように。

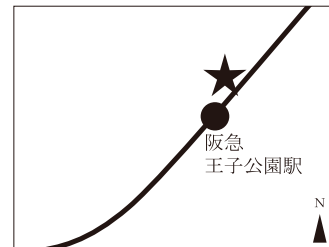


「阪急西灘駅」の今

古谷野 みさ子さん

伝えたい人:東京で1人暮らし中の娘

メッセージ:10代後半、通勤通学に毎日利用した駅。1人暮らしを始めたのもこの頃です。あの頃と駅名は変わってしまったけれど、ここから見える風景は殆ど変わらない。久しぶりに娘に電話してみようかな…。

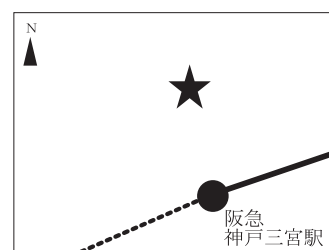


ツツジ咲く散歩道

片岡 雅子さん

伝えたい人:花と散歩が好きな人

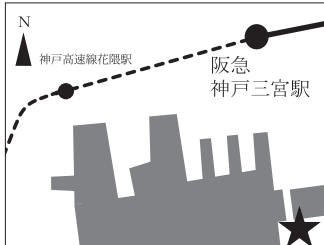
メッセージ:花好きの姉に、若いときに連れてきてもらった北野浄水場の南斜面のヒラドツツジに感動。何十年ぶりが訪れた。今も変わらず咲き誇る花を見て、懐かしくうれしかった。



夕暮れの神戸大橋 高橋 一吉さん

伝えたい人:息子家族

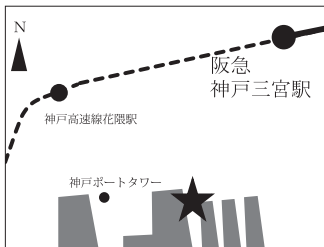
メッセージ:三宮とポートアイランドを結ぶ神戸大橋。あらゆる交通網が走る動脈ですが、夕暮れは夕日でアーチを見ることができます。



神戸港のポートタワートーチ 高橋 一吉さん

伝えたい人:息子家族

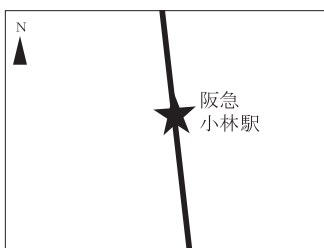
メッセージ:神戸港の夕暮れは、夕焼けに染まり美しい景色を見せてくれます。何度行っても感動をもらえます。



生活路線 KGR1981Eさん(PN)

伝えたい人:写真が好きですべての人

メッセージ:私も関学生でしたので映画「阪急電車」は懐かしい思いで観ました。本線と違って今津線はどこかローカル色豊かですよね。電車が通り過ぎたあとの踏切を行き交う人々、ありふれたいつもの光景がそこにありました。



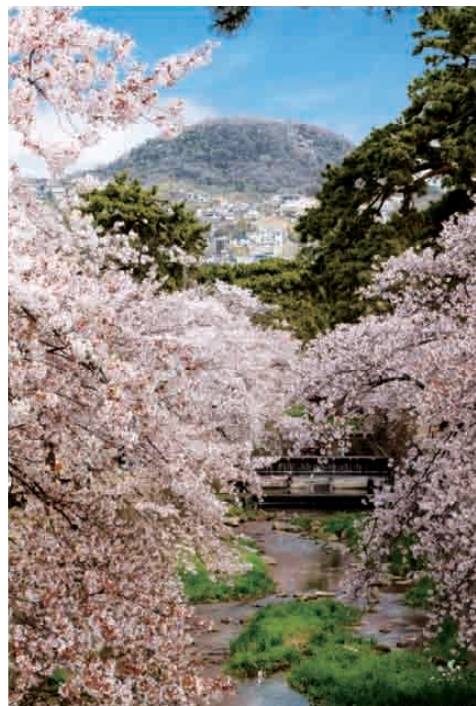


桜坂

大森 慈子さん

伝えたい人:友へ

メッセージ:あの日の事を覚えていますか?皆で大きなランドセルを背負いながら見た桜を、私は毎年思い出します。私たちが母に連れられて歩いた様に、皆もお母さんになって、子供達と希望に満ちた桜の下を歩いているのかな?

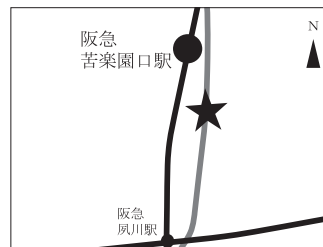


夙川から甲山を望む

眞殿 英一さん

伝えたい人:アウトドア派の人 宴会好きな人

メッセージ:夙川沿いは花見の名所として知られ、桜の間から望む甲山が特に美しいスポットです。ハイキングの場所としても人気があり、甲山まで花見の桜の道が続きます。花見シーズンにはこの景色を楽しみながら宴会を催します。

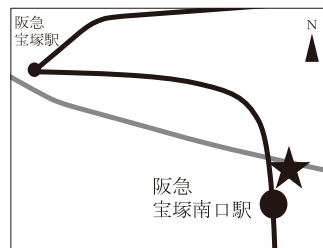


震災モニュメント

山下 智子さん

伝えたい人:震災を知らない若い世代

メッセージ:沿線には阪神大震災のモニュメントがたくさんありますが、宝塚南口駅前にもひっそりと設置されていて、家族で毎年、イベントに参加しています。

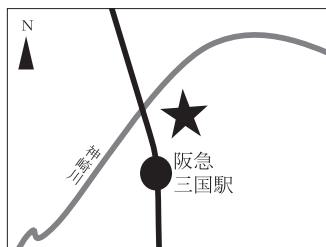


水辺の譜

山崎 風美さん

伝えたい人:心、休息したい人

メッセージ:この時期、神崎川にユリカモメが帰って来ます。エサをやる人がいるので、こうしてユリカモメは待っています。強い日ざしで影が地面に写っていたのでシャッターを押しました。

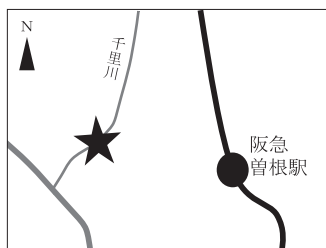


ワンダーゾーン

鳴瀬 博美さん

伝えたい人:沿線の人達

メッセージ:マニアでなくても知る人ぞ知る、有名な場所です。大型機が頭をかすめるように着陸してくると、怖いぐらいの大迫力です。

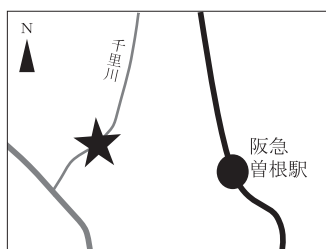


黄昏の着陸

吉田 清和さん

伝えたい人:妻・知人・友人

メッセージ:夕暮れ時、滑走路に対称な山並みとプロペラのシルエットが美しかった。



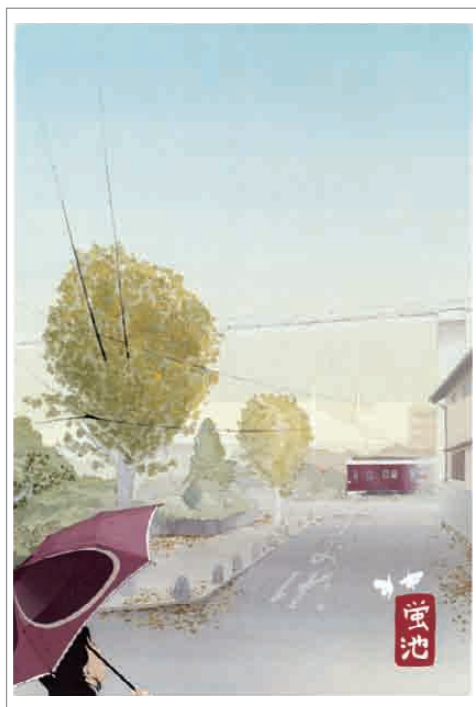


笑顔の花咲く

向日葵くんさん(PN)

伝えたい人:息子

メッセージ:いつもの散歩道、思いがけないワクワクに出会った。神社で朝市、妹が百円握りしめ、優しい黄色の人参を選んだ。葉は天ぷらにしたら美味しいのだそう。扉開け、一步踏み出すのは君。どんな時も母さん見守っているから。

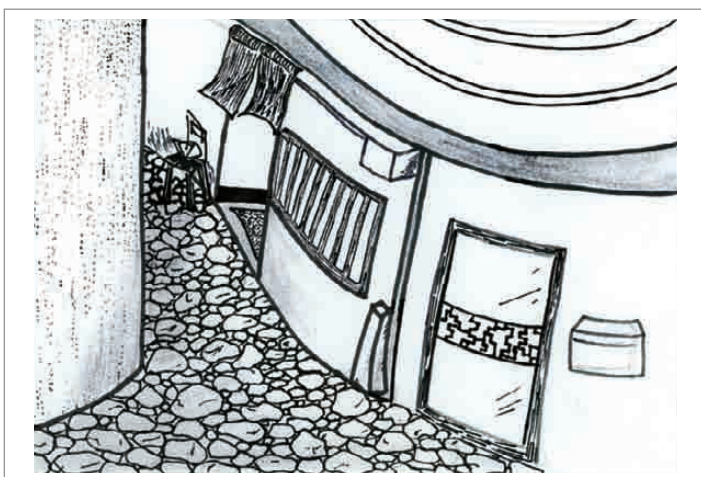
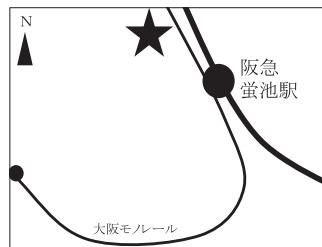


日傘下の微笑

ヤン・ホラートさん

伝えたい人:婚約者

メッセージ:恋人が育った街。子供の笑い声に満ち、蝶が舞う。そして、僕の隣にはいつも日傘と微笑がある。駅までの道が永遠に続けば…ここは別れの場ではなく出逢いの場。優しい街の面影に小さな毎日の幸せと僕らの未来を思った。



魔女のカレー

関原 千晴さん

伝えたい人:友人

メッセージ:魔女のように、とても魅力的な友人が石橋で飲食店をしています。中でもカレーが驚くほど美味しく。たまにしか行けないけど、疲れ果てた時とか本当に食べたくなります。



石橋、赤い橋

森 三郎さん

伝えたい人:知人、友人

メッセージ:親の面倒を見る為に愛媛や岡山へ帰った友人に、この風景をもう一度伝えたい。池田はよかった、住みやすかったといつも云っているのだから、きっと喜んでくれるに違いない。

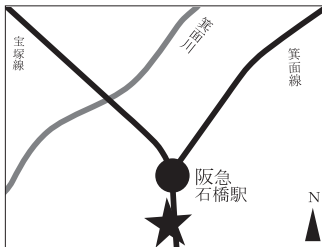


雨、踏切り、急げ!

前川 敏夫さん

伝えたい人:頑張っている人々

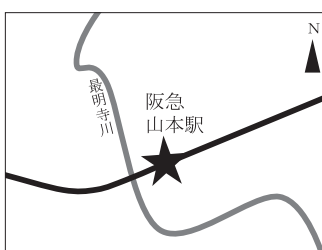
メッセージ:通勤時に目にする、通学風景、雨の日、警鐘が鳴る中、足早に踏切りを渡っていく学生達。新学期が始まって1カ月、がんばって!と声掛けしたくなるし、こちらも、がんばって通勤しようって元気もらう。



車掌さんの見習いの見習い 入江 まりさん

伝えたい人:研修中だった車掌さん

メッセージ:「おおきくなったら、しゃしょうさんになるの」という息子と、ベテラン車掌さんと、2人の熱い視線を浴びて頑張っておられましたね。一生懸命お仕事されて、いつか小さい見習いの指導車掌さんになってやってくださいね。



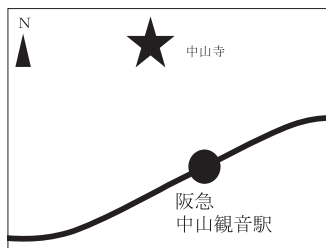


春を迎えた朝

江頭 裕司さん

伝えたい人:母親

メッセージ:桜が咲く頃、まだ肌寒い早朝から中山寺の境内に行ってみました。夜明けの日差しは暖かく、みるみるうちに空に青とピンクのコントラストを映し出します。そんな光景を眺めるご婦人たちに、いやされた朝でした。

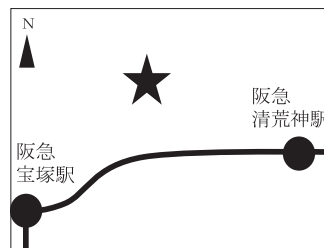


大階段みつけた

匿名希望

伝えたい人:宝塚大劇場

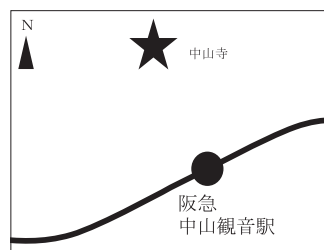
メッセージ:宝塚市に引っ越してきてから宝塚歌劇が大好きになり、大劇場と音楽学校の間を通る阪急電車を見かけると嬉しい気分になります。



ぼく まだ花見したいねん！ 菊池 郁夫さん

伝えたい人:親子で花見していた人

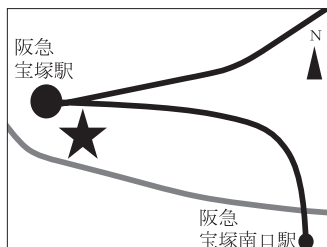
メッセージ:中山観音の桜樹の下で、花見していた親子連れに会った。お母さんは帰ろうとしているのに、坊やはもう少し花の下にいたい様子。ちょっと離れた処からカメラを向けたシーンに坊やの帰りたくない姿が残った。このシーンをあの親子にお届けしたい！



花のみち、桜の頃 平井 達郎さん

伝えたい人:外国に居る孫達に

メッセージ:自宅から遠くない花のみちは散歩コース、四季を通じてよく歩きます。スケッチもよく描きますが今回は思い切って入り口から描いてみました。



みのお名物モミジの天ぷら 岡島 信博さん

伝えたい人:箕面へ観光で来られる方

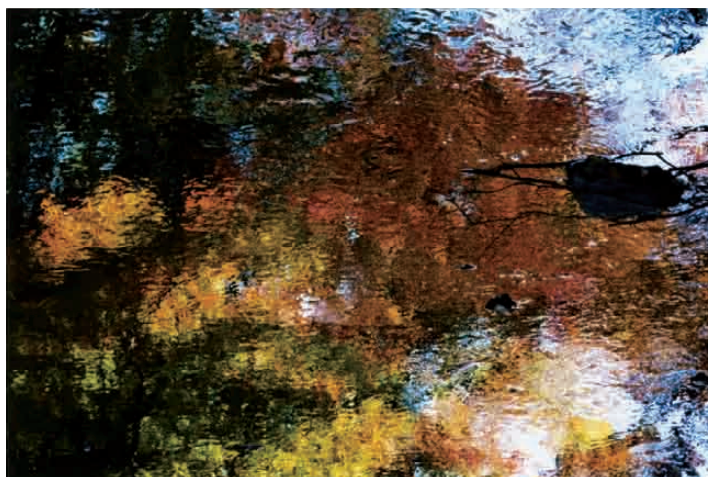
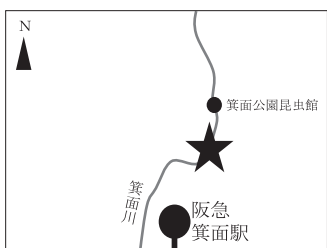
メッセージ:今も昔も箕面名物はモミジの天ぷらですが、新しくゆずが加わりましたし、そしてユルキャラたきの道ゆずです。今は猿ではなく、人形のぬいぐるみです。



清流を彩る紅葉 ウル虎の爺さん(PN)

伝えたい人:次男

メッセージ:君(次男)が5才の頃、「僕は大きくなったら《昆虫博士》になりたい」と言っていたので、箕面の溪流を見下ろせる急な坂道をふたりで上り、昆虫館へ行き、勉強もし、楽しかったですね。そんな君が、本当に博士になってしまい、今や孫が「昆虫好き」になってしまいました。



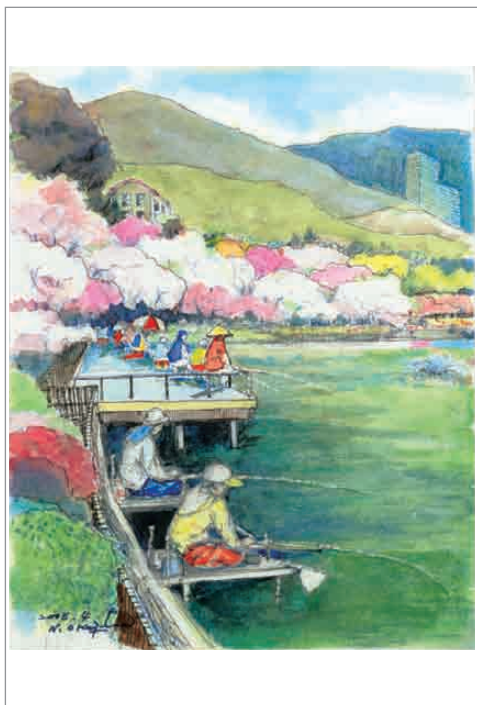
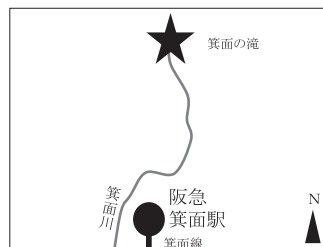


冬も良いね

歩く旅人さん(PN)

伝えたい人:若い人達

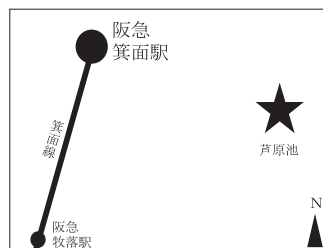
メッセージ:紅葉の頃は、人がいっぱいです。1月でもふたりなら暖かく、静かに大滝を見られます。大滝のエネルギーを受け取ってください。



この景色、最後となります 岡島 信博さん

伝えたい人:釣り好きの友

メッセージ:芦原池での魚釣りは水質悪化を招いたことから28年4月1日より禁止となります。が箕面山の見える芦原公園は、花と緑と水の美しい公園です。フナ、コイの魚釣りは禁止となりました。釣り好きの友、残念ですね。



和む

江村 美智子さん

伝えたい人:心疲れた方に気分転換

メッセージ:仕事を離れ 自由人となり 二人で久びさの小旅行の 思い出 箕面の滝近くにて

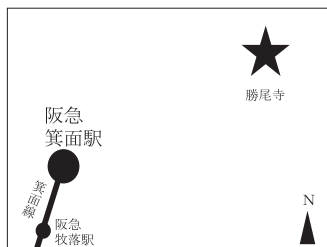


がんばってね

奥山 弘子さん

伝えたい人:姪

メッセージ:勝尾寺本堂の扉に並ぶだるま達。そこにスポットライトがスーッと当たる。あの子は今頃舞台の端っこだで、大きな夢に立ち向かっているだろう。転んでも転んでも起き上って、光が当たるまで応援しているよ。

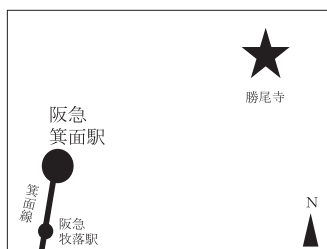


福ダルマ

眞殿 英一さん

伝えたい人:己に打ち勝ちたい人

メッセージ:七転び八起きのダルマです。たとえ苦しく挫けそうになろうとも、目の前の困難と大いに向かい合い、「己に勝つ」という意味が込められているそうです。受験生や一念発起したい方にお勧めのスポットです。



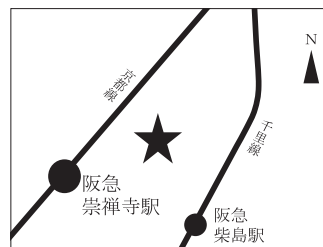


水道局の花見

森 順子さん

伝えたい人:娘

メッセージ:たまには花見に参加しなさいよ。

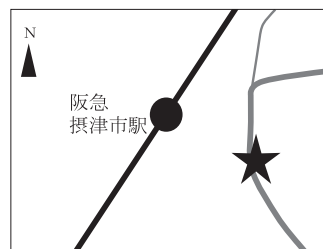


5月の川

水上 毅さん

伝えたい人:川遊びが好きな人

メッセージ:ゴールデンウィークの頃、大正川の平和公園付近でも鯉のぼりの川渡しが見られます。鯉のぼりが川面に映るなか、水がぬるんできた川で遊ぶことができます。

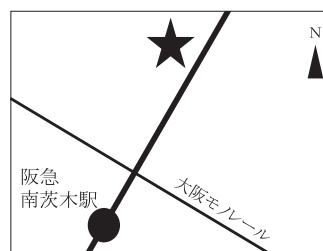


水田の風景

水上 毅さん

伝えたい人:自然を感じたい人

メッセージ:南茨木駅の近くの田んぼで今年も田植えが行われました。今や貴重な都市の風景だと感じています。



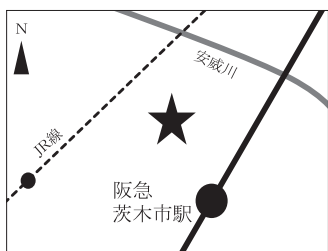


冬の陽だまり

落合 鋼さん

伝えたい人:職場の人たち

メッセージ:陽だまりの心地良さはたまりません。特に冬のそれは別格です。それにしても、月日の移ろうのは早いものです。けれど、陽だまりのなかでは、時間が少しだけ、ゆっくり流れているようです。

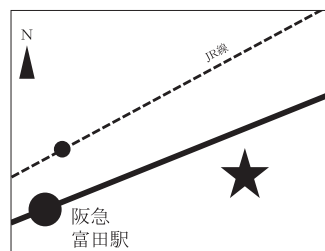


見上げたら

高石 めぐみさん

伝えたい人:父親

メッセージ:小学校3年の頃、大工の父が建築中の家から見た風景。父の手伝いの中、ふと見上げた空と風景。父の手伝い中、ふと見上げた空と緑の高台の間を電車が走っていきます。見上げた電車は空に向かって走っているように見えました。今は車窓からその家を眺めています。

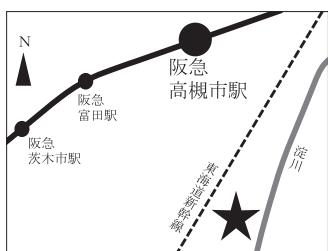


薄紫の世界

瀬川 全澄さん

伝えたい人:母親

メッセージ:今ではあまり見かけなくなったレンゲ畑。僕も母に連れられて、よく遊んだものです。妻と娘のしぐさに、故郷と母のことを思い出しました。



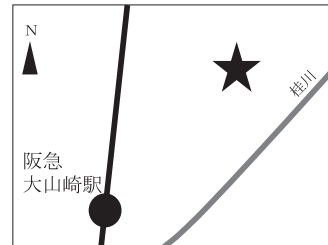


サイクリング

木下 喜久子さん

伝えたい人:七実ちゃんと暁斗くん

メッセージ:息子一家が島本町に住み、孫たちと一緒に、桂川河川敷公園へ出かけました。京滋バイパスをバックに、公園は広く、レンタサイクルで伸び伸びとサイクリングを楽しむ孫たち、いい所だなと思いました。



お花見スポット

れいこさん(PN)

伝えたい人:嫁いだ娘と孫

メッセージ:春になると桜が見事な大極殿公園、かつては、日本の都がここにあったことに、思いを馳せながらのお花見や、散策を楽しみにしています。

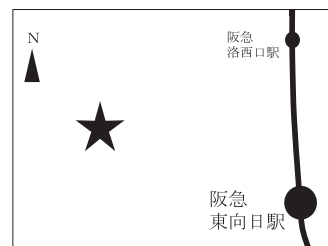


竹の子掘り

れいこさん(PN)

伝えたい人:孫たち

メッセージ:春になると、物集女町の竹林では「竹の子掘り体験」のイベントが開催されます。美味しい竹の子を食するだけでなく、苦勞して土の中から収穫したものは、一層美味しく、孫たちに体験させたいと思っています。

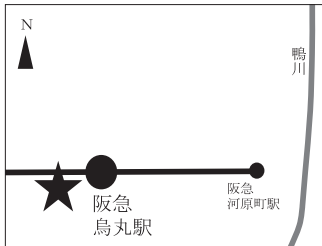


エンヤラヤー

松山 俊弘さん

伝えたい人: 祇園祭を見に来る人

メッセージ: 囃子に合わせて巡行する山鉾を見るのもいいが、四条室町、新町で巡行前の各山鉾のリラックスした光景を楽しむのもいいものです。

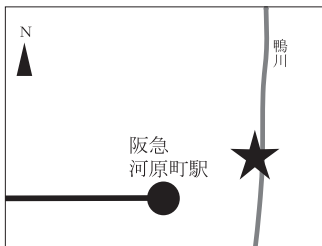


友禅流し

合田 将史さん

伝えたい人: 和服愛好者

メッセージ: 京都夏のイベント行事のひとつ「七夕まつり」の会場で行われている友禅流しです。川に6名の職人さん達が入り染めののりや染色を洗いながす細かい作業や伝統行事の説明などを細かく説明されていた。

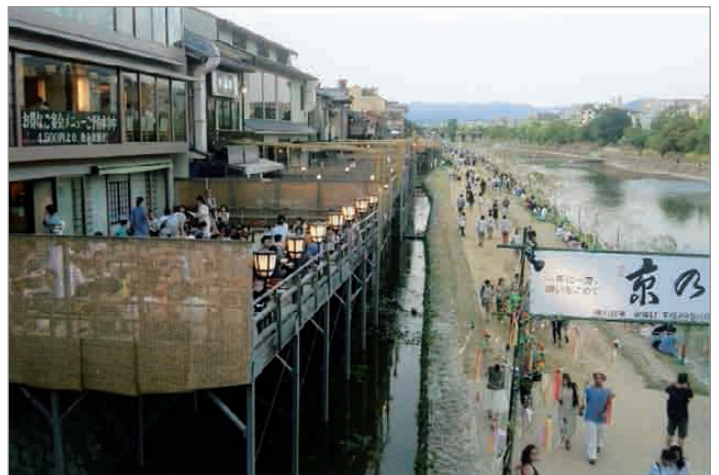
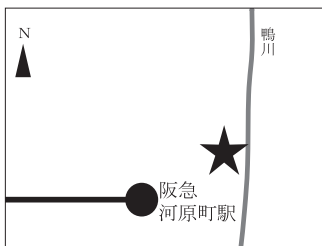


夏の鴨川

kuraさん(PN)

伝えたい人: 母親

メッセージ: 毎年、夏の鴨川での風景。京の七夕も行われていて、何度見ても、風情があって、いいですね。今度、母親を連れて行こ。そして、川床料理も涼みながら食べよ。

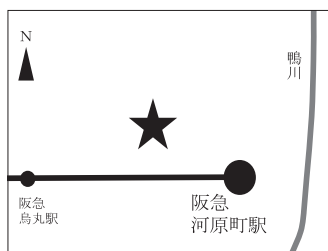




京の台所 錦市場 居村 倫也さん

伝えたい人:若い人達

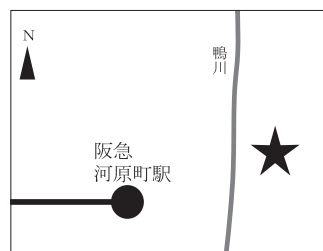
メッセージ:いつ来ても、この場所は活気ある声飛び交っています。お客様と店の方のやりとりが面白いですね。京都の台所は観光コースにもなっています。



祇園の夜 水上 毅さん

伝えたい人:京の夜を感じたい人

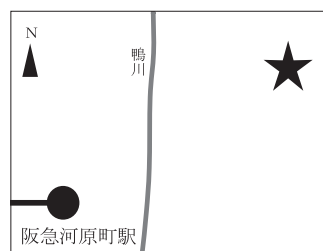
メッセージ:祇園の春の夜といえば桜のライトアップです。しだれ桜を見ながら料亭で食事すると気分は最高でしょうね。



桜に坊主頭がお似合い。 鳴石 典央さん

伝えたい人:すべての人

メッセージ:東山のふもとと疎水べりの小道、哲学の道、春は兩岸の桜で花のトンネルが出来ます。この日は、タイの僧侶が数名、京都観光(?)と出くわし、思わずシャッターを押す。



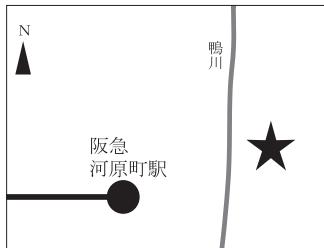


祈り

前川 敏夫さん

伝えたい人:この地を訪れるすべての人

メッセージ:日常の中の非日常。京都のこの辺りでは、当たり前のことのように思えます。時々、本物の舞妓さんに出会える所。

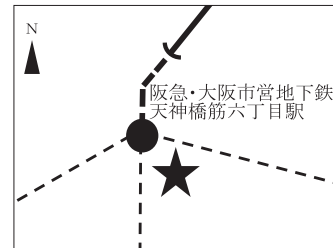


天神橋筋商店街

足立 明さん

伝えたい人:関西の下町愛好者

メッセージ:日本一長い商店街。1丁目から7丁目まで南北に約600の店舗がひしめき合っています。師走のこの時期に何故か、クリスマスの飾りつけではなく「有馬記念」の旗で統一されているところに、妙に好感を持ちました。



長柄橋辺り

加藤 正さん

伝えたい人:皆様

メッセージ:広々と見渡せる淀川堤防沿いは、すべての人を伸び伸びとさせてくれます。近くにはレンガ造りの水道記念館もあり、夕陽は特に美しいものです。

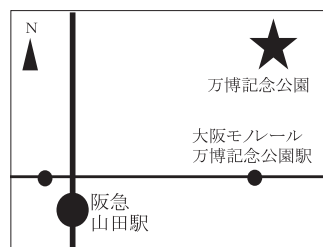




Summer Green 瀬川 全澄さん

伝えたい人:娘

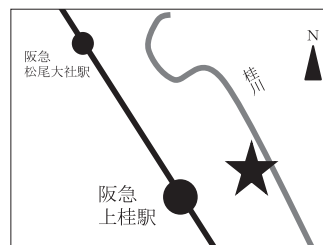
メッセージ:娘の背丈ほどもある蓮が群生する万博公園の日本庭園。その規模に、ただただ圧倒された娘と私でした。



神幸祭 大山 照美さん

伝えたい人:お祭り大好きな人

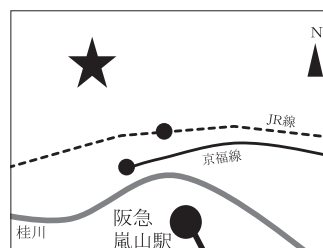
メッセージ:4月20日においで祭と親しまれている神幸祭がありました。6基の神輿が順次出発。祭りのハイライトは船渡御で船に乗せた神輿が桂川を渡る様子が楽しみで毎年見学に通ってます。



嵯峨狂言 谷藤 由紀夫さん

伝えたい人:嵯峨嵐山に訪れた観光客

メッセージ:嵯峨嵐山の観光名所は、渡月橋、竹林以外にも、貴方だけの秘密の京都があると思います。そんな貴方に、ほんの一部ですが、ご紹介させていただきます。

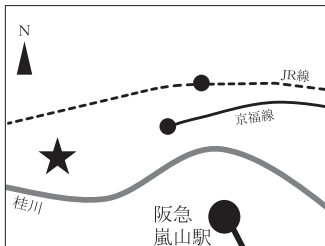


嵐山緑風

平岡 正己さん

伝えたい人:妻

メッセージ:結婚して最初の住まいが嵯峨天龍寺近くのアパート、暮らしは質素なもの天下の名勝がそっくり我が家の庭!二人とも亀山公園からのこの風景が好きだった。上流は生まれ育った亀岡市、かけ替えのない第二の故郷である。

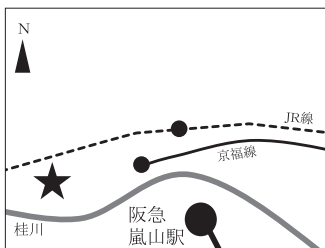


京の竹林

仲田 聡さん

伝えたい人:これからの世代

メッセージ:京都の新たな風物詩となってきた花灯路。いつまでもこの京都らしさは残してほしいです。

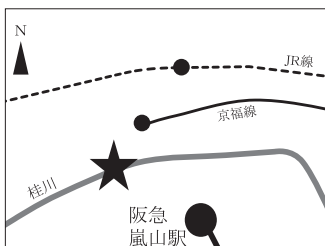


月も見ている渡月橋

藤川 正規さん

伝えたい人:冬の京都好きの人

メッセージ:花灯路の期間で月の見えるときにやっとめぐり会いました。



第1回 阪急電鉄開業100周年記念 阪急ええはがきコンテスト 宝塚線・箕面線

阪急電鉄開業100周年を記念して、創業当時の路線である宝塚線・箕面線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2010年2月1日～5月7日

対象路線：宝塚線、箕面線

対象エリア：大阪市(北区・淀川区)、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市

審査員：有川浩先生(作家)、有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)、茶谷幸治先生(イベントプロデューサー)

入賞作品：100作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/大阪府、兵庫県、大阪市、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市、池田市観光協会、箕面市観光協会、川西市観光協会、宝塚市国際観光協会

協力/大阪ええはがき研究会



最優秀賞 写真部門
五月のレンゲ畑 當山 悦司さん



最優秀賞 絵画部門
豊南市場 内橋 未央さん



PRポスター



開業100周年記念シンポジウムでの表彰式
(宝塚ホテル)



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第2回 映画「阪急電車 片道15分の奇跡」ロードショー記念 阪急ええはがきコンテスト 今津線

映画「阪急電車 片道15分の奇跡」のロードショーを記念して、映画の舞台である今津線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2011年3月25日～6月3日

対象路線：今津線

対象エリア：宝塚市、西宮市

審査員：有川浩先生(作家)、有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：54作品

関係組織・団体：主催 / 阪急電鉄株式会社

共催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後援 / 兵庫県、宝塚市、西宮市

大阪ええはがき研究会

協力 / 西宮市宝塚市内郵便局、阪急西宮ガーデンズ



最優秀賞 写真部門
マイ・ウェイ 本城 利彦さん



最優秀賞 絵画部門
ビール工場 奥村 誠さん



PRポスター



入賞作品の展示
(西宮北口駅カリヨン広場)

第3回 阪急ええはがきコンテスト 京都

初めて京都方面を対象にしたコンテスト。

作品募集期間：2012年3月27日～5月31日

対象路線：京都線(京都府域)、嵐山線

対象エリア：京都市(中京区・東山区・下京区・右京区・西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)、土居好江先生(NPO法人遊悠舎京すずめ)

入賞作品：102作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町

協力/大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門
一本の橋 水上 毅さん



最優秀賞 絵画部門
京の風情 納涼床 中村 勇人さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第4回 阪急ええはがきコンテスト京都線part2

西山天王山駅が2013年12月に開業したことを記念して開催。

作品募集期間：2013年7月8日～9月30日

対象エリア：西山天王山駅を中心とする京都線沿線地域(向日市域～高槻市域)、西山天王山駅で直結する京都縦貫自動車道沿道地域(亀岡市、京都市(西京区・伏見区)、八幡市、久御山町)

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：75作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

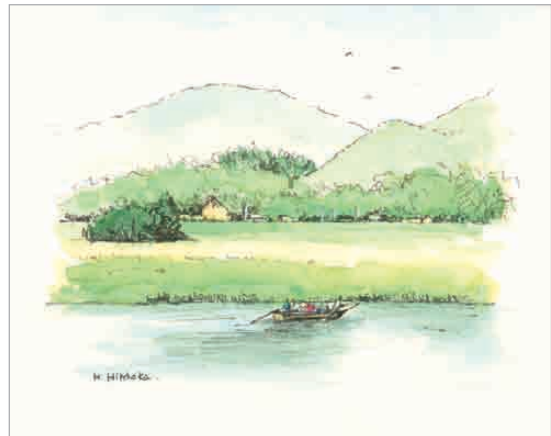
共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 京都府、大阪府、向日市、長岡京市、大山崎町、高槻市、島本町

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門
春風 鳴瀬 博美さん



最優秀賞 絵画部門
保津川下り 平岡 正己さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第5回 阪急ええはがきコンテスト阪急京都線part3&千里線

京都線(大阪府域)と千里線でコンテストを開催。

作品募集期間：2014年3月27日～5月31日

対象路線：京都線(総持寺～南方)、千里線(北千里～天神橋筋六丁目)

対象エリア：茨木市、摂津市、吹田市、大阪市(東淀川区、淀川区、北区)

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：55作品

関係組織・団体：主催/阪急電鉄株式会社

共催/阪急阪神ホールディングス株式会社

後援/大阪府、茨木市、摂津市、吹田市、大阪市

協力/大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門
見守る太陽の塔 常藤 光一さん



最優秀賞 絵画部門
懐古風景 居村 倫也さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

第6回 阪急ええはがきコンテスト 神戸線・伊丹線・甲陽線

神戸線・伊丹線・甲陽線でコンテストを開催。

作品募集期間：2015年4月15日～8月31日

対象路線：神戸線(神崎川～神戸三宮)・伊丹線(塚口～伊丹)・甲陽線(夙川～甲陽園)

対象エリア：大阪市淀川区、豊中市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市、神戸市(東灘区、灘区、中央区)

審査員：有野永霧先生(写真家)、井上正三先生(画家)、杉本容子先生(大阪ええはがき研究会)

入賞作品：61作品

関係組織・団体：主 催 / 阪急電鉄株式会社

共 催 / 阪急阪神ホールディングス株式会社

後 援 / 大阪府、兵庫県、大阪市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市、神戸市

協 力 / 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門
夕暮れに異人館から望む 高橋 一吉さん



最優秀賞 絵画部門
夙川の夜桜 平野 美保さん



PRポスター



入賞作品の展示
(梅田駅1F中央WEST広場)

審査員の先生方からのメッセージ

審査員の先生方からいただいた、コンテストを振り返ってのメッセージをご紹介します。

有野永霧先生（写真家）

応募点数が1,000点を超え、このコンテストを楽しみにしていただいている写真愛好家の方々が多くおられることに、力強い応援の力を感じます。

今回は、阪急沿線が住民の人や多くの外部の人々に愛されている姿が多く応募されてきました。日常生活がさまざまに写真にとらえられていて、豊かな沿線風景の写真が多くありました。

人を撮るのは難しい時代になりましたが、やはり人間が最も魅力のある被写体といえます。人との和を大切にしながら、今後も風景だけでなく人間も撮り続けてください。阪急は住む人に愛される沿線です。

■有野永霧(ありの えいむ)先生プロフィール

尼崎市生まれ。大阪学芸大学(現大阪教育大学)卒業。写真家。元大阪芸術大学教授。1981年タイムライフ写真年鑑新人賞、1985年尼崎市民芸術奨励賞、1994年第19回伊奈信男賞受賞、2002年尼崎市民芸術賞受賞。国内外で多数の写真展を開催し、写真集に「虚実空間・都市」、「都市からのメッセージ」、「都市との対話」、「虚実空間・空蟬の都市」、「虚実空間・空蟬の風景」、「日本人景 温泉川」などがある。

井上正三先生（画家）

お気に入りの景色、自分だけの思い出が秘められた景色、そっとしまっておきたい景色、誰もその人だけの景色というものがあると思います。「伝えたい沿線の日常」というコンテストのテーマに応え、今回はそんなとっておきの景色が出ていたのかもしれない。

今回の応募作品の多くはメジャーなスポットではなく何気ない街の一角であったり、身の回りの出来事が素材であったりする作品が多くありました。いつも通る道の季節の推移に目を留め表現されたものや、近くの木々の緑や桜の見事さに関心を寄せた絵もありました。このコンテスト応募の機会に改めて自分の周囲を見渡してみて、思いがけない景色に気づいた方もおられると思います。それらの思いがっぱいに詰まった作品の数々、今回も沿線の魅力をしっかりと伝えていただきました。皆様の素晴らしい応募作品に心から感謝申し上げます。

■井上正三(いのうえ しょうぞう)先生プロフィール

1944年生まれ、芦屋市在住。1994年に絵はがきシリーズ「風のたより」初出版、2008年には水彩画集「風のたよりに彩添えて」を日貿出版社から出版。モロゾフ製菓のパッケージデザイン、芦屋市や宝塚市の広報誌なども数多く採用され、2002年には、芦屋市から米姉妹都市モンテペロ市に水彩画「芦屋川」が寄贈された。2009年には芦屋市美術館で「井上正三水彩画展」が企画展として開催されている。現在、ジパング倶楽部の講師、谷崎潤一郎記念館文学館講師など阪神間各地で絵画教室を担当し、月刊誌「まいんど」の連載など幅広い部門を手掛けている。

杉本容子先生（大阪ええはがき研究会）

計6回のコンテストを審査させていただく中で、応募されるみなさんのまちの魅力を切り取る技術がどんどん高まっていくことに毎年驚かされてきました。今回からは第二ステージとしてテーマ設定がされ、写真や絵などのビジュアルはもちろん、「言葉」で伝える技術がより重要になったことが大きく変わった点です。写真や絵の上達に向けてたくさんシャッターを切り、筆をとるように、言葉でまちの魅力を伝えるためには練習や経験が必要です。

このまちの魅力は何か、それを人に伝えるにはどんな言葉でどのように表現すれば伝わるか。日々の暮らしのなかで、少しずつでも意識してみてください。人に伝えることを意識することで、まちの魅力が2倍にも3倍にも感じられるようになり、毎日が楽しくなります。

来年のええはがきコンテストでも、またみなさんの素敵な生活に触れさせていただくのが楽しみです。メッセージ欄、全て読んでいますよ!

■杉本容子(すぎもと ようこ)先生プロフィール

大阪ええはがき研究会メンバー。(株)ワイキューブ・ラボ代表取締役。都市魅力プランナー。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士前期課程修了。工学博士。杜の都仙台生まれ、白砂青松湘南育ち、水都大阪に生きるまちづくり好き。水辺の魅力づくりや歴史的環境のまちづくりを得意とし、まちをおもしろくするNPO活動にも積極的に参加。民間特別任用により大阪府都市魅力創造局立ち上げの政策企画を担当した経験をもつ。現在は一児の母とまちづくりコンサルタントの二足の草鞋で奮闘中。

第7回 阪急ええはがきコンテスト

第2章 ～あの人に伝えたい、阪急沿線の日常～ 入賞作品集

発行 2016年12月

編集・発行 阪急電鉄株式会社 都市交通計画部
大阪府大阪市北区芝田1-16-1

E-mail hc-eehagaki@hankyu-group.jp

URL <http://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>





私たちは、未来へつなく
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

